

令和7年度第1回地域医療構想調整会議



令和7年度 地域医療提供 体制データ分析 チーム構築支援 事業について

千葉県健康福祉政策課政策室

本日の趣旨：各圏域の分析項目について御協議いただきますようお願いします。

(1) 事業の背景

- ☑ 厚生労働省は、医療計画の推進や次期地域医療構想の策定に向けた取組として、都道府県におけるデータ分析体制の構築を支援
- ☑ 県では、厚生労働省の採択を受け、令和6年度から実施（2年目）

新規 地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業
医政局地域医療計画課（内線2663）

令和6年度概算要求額 4.5億円（-） ※（）内は前年度当初予算額
※令和4年度第2次補正予算額 3.0億円

1 事業の目的

- 都道府県は、令和6年度において、第8次医療計画（令和6～令和11年度）の開始や2025（令和7）年に向けた地域医療構想の実現のため、医療提供体制の構築を着実に進めるとともに、構築した体制についてPDCAサイクルを実施するため医療提供体制に関する評価・分析を行う必要がある。
- 令和7年度に都道府県において次期地域医療構想の策定等を行うことが見込まれていることから、データ分析チームの構築は優先して実施が必要。
- 地域医療構想策定には、地域の現場感覚とマッチしたデータ分析が必要であるため、都道府県におけるデータ分析体制の構築を支援。
- 分析事例を集積し、分析体制のベストプラクティスを検討・実践することで、計画策定に限らず、2025（令和7）年に向けた地域医療構想の推進について、都道府県が自主的に分析・企画・立案できる体制の整備に繋げる。
- 令和5年度（令和4年度第2次補正予算）で実施した当事業の結果をより多くの都道府県にフィードバックして展開。

2 事業の概要

- 都道府県を対象に、都道府県におけるデータ分析チームの構築を支援する。
- 都道府県は、データ分析チームを活用して、地域（二次医療圏、構想区域）の詳細分析を実施することにより、一層地域の実情に即した地域医療構想の評価が可能となる。
- 都道府県は、分析体制や分析結果、計画策定におけるデータに基づく議論の成果について事例発表を行い、取組の横展開や事例の集積を図り、次年度の実施要領に反映。

3 事業スキーム・実施主体等

補助基準額：1箇所当たり30,000千円 補助率：定額
実施主体：都道府県 負担割合：国10/10

分析体制・分析手法の実践、分析体制の構築、事例の横展開・集積

分析体制の検証と活用

（都道府県）
分析手法の実践
分析体制の構築

医療関係者（大学等） 都道府県
事務局（委託事業者等） 医療機関（医療関係団体等）

データ分析チームの構築

地域の課題の抽出
地域ごとの医療提供体制に関する課題について、データに基づく課題の提示

詳細分析
地域ごとの医療需要の推移や医療資源等に関して、データの詳細分析

連携構築の支援
疾病・事業ごとに必要な医療機能の明確化を支援し、医療機関の分限・連携を推進

地域医療構想の評価・分析

医療計画の評価・分析

取組の横展開・集積

事例発表による実施要領に反映

分析体制の活用

地域の課題を踏まえた医療機能の立ち位置の確認、内部環境分析

担うべき医療機能、病床機能・規模、整備計画等、今後の方向性の検討

地域における医療機能の分化・連携の検討

地域医療を支える体制の構築

(2) 医療をめぐる特徴、動向

- ☑ 都市部を中心とした高齢者人口の増加に伴い、疾病構造の変化や、医療需要の増加が見込まれている。
- ☑ 地域の人口構造等の違いから、医療需要の増加幅やピークを迎える時期に差があるため、それぞれの地域の課題に応じた対応が重要



○本県の保健医療に関して総合的・効果的に推進するための基本的な指針である「**千葉県保健医療計画**」を昨年3月に策定

○地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業では、本計画の推進に当たって、各地域の実情に応じたデータ分析を企画・立案できる体制を構築し、地域医療の現状や今後の見込み等について分析する。

(3) 令和7年度事業の概要

【業務内容】

- (1) データ分析チームの構築
- (2) データ分析項目の検討体制の整備
- (3) データ分析項目の選定
- (4) データ分析の実施
- (5) 分析結果の発表
- (6) 都道府県間の情報共有・連携

【主な分析内容（予定）】

- ・「見える化」する必要がある現在の地域の課題（別紙参照）
- ・ 人口、医療・介護提供体制
- ・ 5 疾病・5 事業（特に救急、脳卒中、心血管疾患、小児、周産期）及び在宅医療の需給状況
- ・ 医療機関相互の連携状況
- ・ 拠点病院へのアクセス時間
- ・ 保健医療計画に定める「施策の評価指標」の地域別状況
- ・ 医師の働き方改革による地域医療への影響

【業務受託者】 <公募型プロポーザル方式により選定>

NTTコミュニケーションズ株式会社

（分析担当：千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター）

(4) 令和7年度事業の展開

- ☑ 前回、今回の協議を踏まえ、9月頃に分析項目を決定し分析開始
- ☑ 分析結果は来年の調整会議で公表予定

※前回調整会議（令和7年 2～3月）の主な意見

- ・ 流入・流出のデータは救急搬送のものであったが、例えば、がん等で入院し高度な治療が必要なケースでも主に郡部から千葉市に流れてくる患者は相当数いるのではないかと。
- ・ 循環器の手術件数と高難易度の手術件数について、資料の中で上映のみで提示となっているが、しっかりとしたデータが出ているので、公表できない理由がないのであれば、提供いただけるとありがたい。
- ・ 小児科、外科、産婦人科医も減ってきているが、それに対応できるかといった分析もしてほしい。

